

大平浄化センター

各施設のはたらき

汚水ポンプ

下水管を流れてきた家庭からの排水を、地上部のスクリーン装置まで汲み揚げます。

スクリーン装置

流入下水中のゴミや砂を分離し、ゴミは脱水処理します。

オキシデーションディッチ

汚水に空気を加え、微生物の働きによって有機物を分解し、沈みやすい活性汚泥に作り変えます。

沈殿池

活性汚泥をゆっくりと流し、汚泥は沈殿させ、上澄み液は塩素混和池に流します。

塩素混和池

きれいになった水を消毒し放流します。

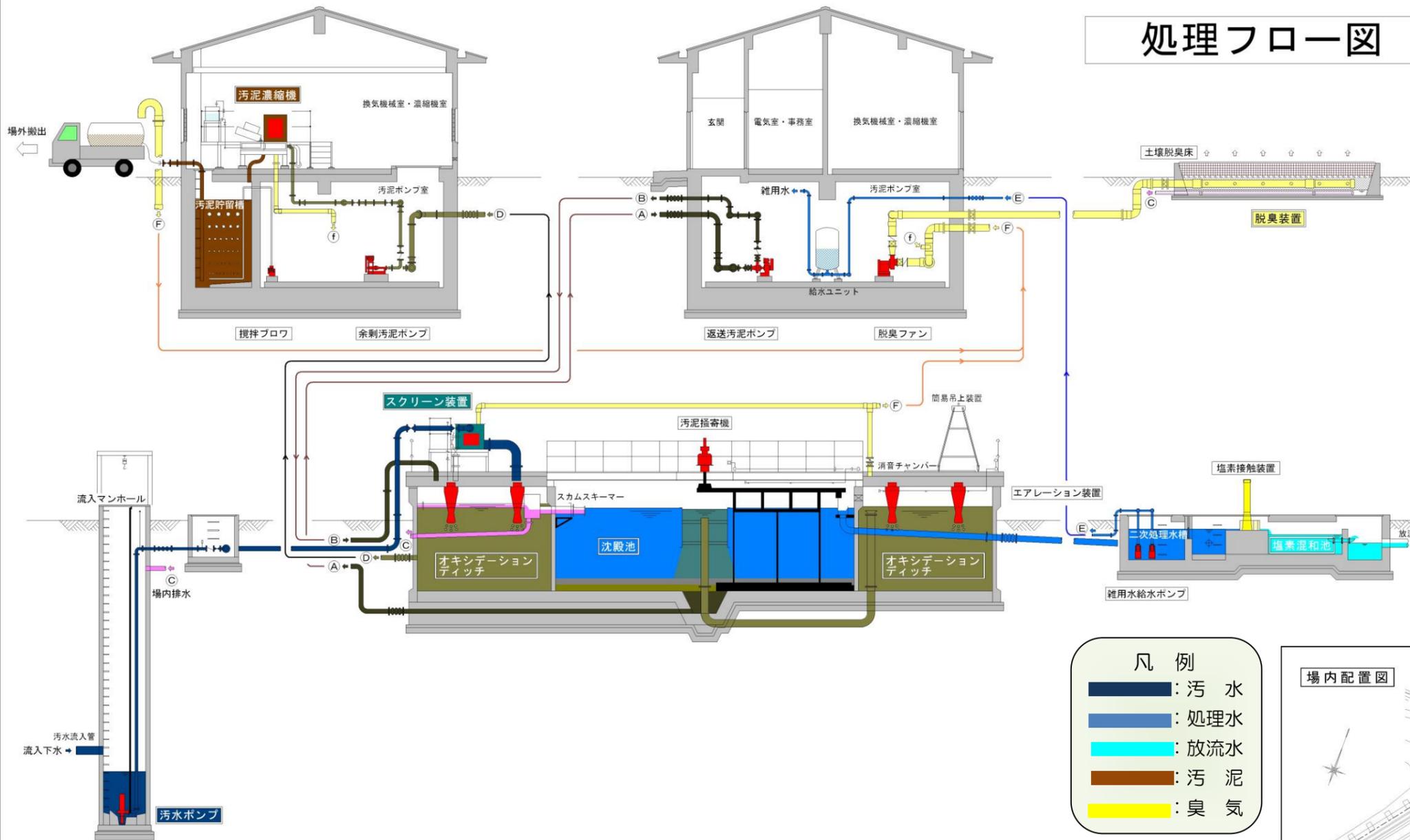
汚泥濃縮機

余った汚泥を濃縮します。貯まった濃縮汚泥は定期的に場外搬出します。

脱臭装置

特殊な土壌に臭気ガスを接触させ処理します。

処理フロー図



概要

敷地面積	2,500m ²
処理方法	OD法
処理水放流先	形上湾
処理区域面積	36ha
計画人口	1,500人
計画汚水量	670 (m ³ /日)

経過

平成16年度	下水道事業認可 (平成16年10月)
平成16年度	管渠工事着手 (平成17年1月)
平成19年度	下水道事業認可 (変更) (平成19年11月)
平成19年度	大平浄化センター工事 (造成工事) 着手 (平成20年3月)
平成21年度	大平浄化センター供用開始 (平成22年3月)

